

【多目的ホール】

菊づくりをはじめませんか 初心者向け講習会

▼日時 6月1日(土) 13時30分～15時

▼内容

さし芽から、小鉢、中鉢、大鉢への移植の仕方。大菊(各種 三本立、一本立、ダルマ、福助) 懸崖、前垂れ、小菊の作り方等。作品は文化祭(11月)に展示します。

▼参加料 無料(参加者には菊の苗を提供します)

▼問合せ 清野(☎22-3452)

お知らせ

みなさんお待たせしました!野菜や山菜が入荷!

■ 毎年大好評・当別の新鮮アスパラが5月上旬より、入荷します。地方発送も受け付けているのでみなさん是非お買い求めください。

■ うど、コジャックなど山菜も入荷します。また、春採りのみずみずしいニラ、レタス、中旬にはきゅうりも販売します。

■ ガーデニングの季節到来!ハーブ苗・花苗・野菜苗も数多く取り揃えています。

※培養土・たい肥もご用意しています。

当別観光情報プラザ【FIKA】フィーカ

〔5月のギャラリー〕

「心のくすり」植物エネルギー写真展

▼作品提供 北海道医療大学准教授 堀田清

▼内容 エネルギーいっぱいの春の芽出しの写真展示です。

▼期間 5月9日(木)～30日(木)

▼問合せ FIKA(☎27-5388)

〔情報発信中!〕

ふれあい倉庫とFIKAの情報は町民ポータルサイトのブログで随時更新していますので、ぜひご覧ください。

<町民ポータルサイト>

<http://portal.town.tobetsu.hokkaido.jp/>

▼問合せ ふれあい倉庫(☎27-6600)

FIKA(☎27-5388)

商工課(☎23-3129)

続

町長の日記

平成25年4月20日(土)

今日は暦の上では「穀雨^{こくう}」で田畑を潤す春雨が煙るように降る日である。

私は暦の大安とか仏滅など吉凶はあまり気にしないが農家育ちなので祖父母がよく話していた半夏生、二百十日、土用、穀雨など節気の代表的な事は子供心に関心を持っていた。

生家は獅子内の山際でもう古い家だったが裏山から清水が流れ出る家の前の小川が好きだった。

手押しポンプで汲む水は綺麗で冷たくて豊富で時折り生振から来る上品なお坊さんが「この家の水は誠においしい」と言っておられた。

高校生の頃、父は農地が沢山ある所に家を新築した。

そこは掘り抜き井戸が年中自噴していて営農上は何かと便利だった。

私が現在の家を建てた時は掘り抜き井戸と水道の両方を使い分けてきたので、私はずーっと水には恵まれてきたから、子供の頃、当別市街の親戚へ行くと時々飲み水が不足している状況が子供の私には理解できなかったが、祖母が水を拝むような仕草をしていた意味が段々分かってきた。

当別は70kmもの長い当別川が流れていて、それに80本くらい支流がつながって昔から大雨が降る都度、水害になるほど水があるのに町が水道事業を実施しようとしたら国が当別町は水田農業に沢山の水を使用しているから川の正常な状態を保つ為に維持用水が足りなくなる状況なので、近藤町長時代に許可している8,000人分以上の水道用水が必要ならダムを造って水を貯めなければ許可出来ない。と言われて上口町長はダムを造る決断をしたのだった。

勿論、町議会は全員一致して強力に支持した。

北海道には170くらいダムがあり、日本中で3,000以上もダムがあるが色々な事で上口町長、配野町長、伊達町長は議会と共に随分御苦労されたのを私は全て見てきた。

そして、40数年後の今年から町民はみなピンネシリの山の純水な水を飲めるようになったのである。

4月1日の受水式の朝、私と水道課の職員は歴代町長の写真が飾ってある部屋で一番水を供えて「お蔭様で綺麗な美味しい水が飲めるようになりました」と御報告をした。

その後、ダムの近くの浄水場広場で当別町無形文化財第1号に指定したばかりの当別音頭を60人ほどのご婦人が受水式を祝って大きな輪になって踊ってくれた。その姿は昔、私の祖母が水に手を合わせて感謝している姿のように思った。

～穀雨なりセザンヌ訪ふに良き日なり～ 名知未知男(俳人)

当別町長衆亭俊考